

## CMSC 香川

四国フレッシュマンシリーズ第2戦を主催  
7月7日には'85アストロトライアル

CMSC香川主催・'85CMSCラリーin香川が、2月23・24日、参加車35台を集めて開かれました。白鳥町をスタート、香川県内100km・徳島県内100kmのコースを走り、大窪寺をゴールとする設定。当日は静岡で「スタリオラリー車発表会」が開かれたため、審査委員長に予定していたCMSC本部・外川会長の出席がかなわなかったのは残念ですが、会場は大盛況。ランサーインタークーラーポを駆

ってCクラスに出場した松本・森本組(蜂須賀ドライバーズクラブ所属)が2位入賞を果たし、さらに三菱賞を獲得しました。



## CMSC 島根

好調子の波に乗り、快走！  
'85日本海ダートラリーチャンピオンシリーズ

3月に臨時総会を開き、8月18日に一戦主催することを決定。ぜひ成功させたいと、意気盛んです。4月21日の'85日本海ダートラリーチャンピオンシリーズ第2戦には、国谷益雄選手がA73で出場し、7位。続く5月12日の第3戦には杉坂啓一選手がFTOでDクラスに出場。5位入賞を果たし、同じくFTOでダブルエントリーした杉原正昭選手は第6位。第2戦

に引き続きA73で出場した国谷選手が8位と、好成績をおさめています。



## CMSC 岐阜

結成10周年！  
誓い新たに、三菱車快走！

CMSC岐阜では、結成10周年を記念し、6月8・9日、恵那市で総会・練習会を行いました。会員が各地区に分散していて、1月の総会以外は全体で集まる場がありません。これを機会に練習会などを増やし、結束を強めていきたいとのこと。会長の浅野博孝選手と古田尋重選手のコンビは、5月18・19日、CMSCハイランドジュニアラリー'85に出場、Cクラス4位の

好成績をおさめました。また、6月1・2日に行われた、ラリーアート協賛第5回チームエンゲイラリーミーティングではCクラス44台中24位でした。



## CMSC 栃木

'85ダイヤスターラリー  
審査委員長はCMSC福島・菅野茂会長

CMSC栃木主催、栃木三菱・南栃木三菱協賛による'85ダイヤスターラリーが6月1・2日に行われました。五十里湖観光センター駐車場を基・終点とし、県道藤原宇都宮線～八方が原観光道路～塩原元湯で折り返す1ステ、湯西川～大笹牧場～霧降高原・今市で折り返す2ステというコース。栃木県は林道が使えないため、280kmのコースはオール舗装路。初・中級者が全員オンタイムできるアベレージ設定になっています。審査委員長にCMSC福島の菅野茂

会長を迎え、Aクラス17台・Bクラス39台で競われたこのラリー、萩島・片桐組(UMSC所属)のランサーターボが優勝するなど、三菱車大活躍！萩島・片桐組は三菱賞も獲得しました。



## CMSC 青森

館山選手コルディア4WDで  
目指すは東北シリーズチャンピオン！

2月の田沢湖ウィンターラリーで優勝、幸先よいスタートを切った館山正嗣選手。5月12日のOCC青森ダイナミックダートトライアルでも、見事B

IIクラスそして総合優勝を果たしました。館山選手にとっては、コルディアで迎える初めての夏。6月15・16日の東北シリーズ第2戦・栗駒山アルペンラリーにはテストをかねて出場し5位に入賞。優勝はCMSC福島 藤田選手。6月29・30日に行われる'85ツールド東北をはじめとする全日本ラリーに、万全の構えで臨みたいと意欲満々の館山選手です。



## CMSC 福島

福島県ダートトライアルシリーズ第3戦  
BIIクラス1~3位独占、  
ラリー車クラスでも優勝！

6月9日、福島県エビスサーキットで開催された福島県シリーズ第3戦・'85チーム石楠花ダートトライアルインエビス。あいにくの雨にもかかわらずCMSC福島勢はBIIクラスで1~3位を独占、ラリー車クラスでも優勝するという快挙をなしました。BIIクラス優勝の高野正信選手は、ランサーからコルディア4WDに乗り換えてのアピュー戦初勝利。「コルディア4WDは乗りやすい車。これから

もどんどん優勝をさらいますよ」と張り切っています。また、菅野茂・畠山幸記両選手がオフィシャルとして参加しました。



## CMSC 札幌

森・吉岡組、ランサーインタークーラーポで  
Cクラス8位入賞！

'85グラベルカップシリーズ第2戦・スプリングインクレストが、快晴に恵まれた5月18・19日に行われました。札幌の北、浜益村をスタート地点とし、約200kmを走って再び浜益村へと戻るコース設定。CMSC札幌からは5台がエントリーしました。そのなかでひととき活躍していたのが、森和義・吉岡幹雄組。ランサーインタークーラ

ターボを快調に探り、8位入賞を果たしました。



●菅野茂選手、コルディア4WDで5連勝！

月日	競技会名	順位
4月14日	チームアヤベ・ダートトライアル	優勝
4月28日	ダートトライアル山形(山形県ダートラリーシリーズ第2戦)	優勝
5月5日	ダートトライアル仙台(宮城県ダートラリーシリーズ第1戦)	優勝
5月12日	チームマサミ・ダートトライアル'85(東北選手権第2戦・B地区選抜選・第2戦)	優勝
5月26日	OCC岩手ダイナミックダートトライアル	優勝

未知の可能性を秘めて

# スタリオンラリー仕様車、CMSCに事前披露



ケンジローも絶賛の、スタリオングループA仕様車

去る3月23日(土)、JAF全日本ラリー選手権3戦以降の出場に先立ち、スタリオンラリー仕様車の披露会が報道披露をかねて実施されました。また、この日、同時にスタリオンのグループA仕様車もあわせて披露されました。会場の静岡県・御殿場に集まったCMSCのメンバーは本部支部あわせて42名。タスカエンジニアリングの石黒

社長をはじめ、JAF戦でおなじみの山内選手や日下部選手、ダートラのトップドライバー国政選手…と豪華な顔ぶれがそろいました。

この披露会で外川会長は「JAF2戦では青森の大西選手が優勝をかざり、CMSCとしては大いに意気があがります。これからもチャンピオンをどんどんだしたいと思います」とあいさつ。

また、ラリーアートゼネラルマネージャーからは「コルティヤ4WDが全日本で2連勝。3戦以降、アドバンチームからスタリオンで出場します」と報告がなされました。

ラリーアートでは、スタリオンラリー仕様車をJAF戦に出場させながら、じっくり熟成させていきますが、今秋にもこのスポーツキットの国内外同時発売を計画しています。

このスタリオンラリー仕様車に田口選手は「WCRをターゲットにするとき、国内仕様としての200PSのD

ASHエンジンをもつスタリオンは格好のマシン」とコメントを寄せています。また、実際にグループAのスタリオンに乗った篠塚選手は「予想以上に乗りやすい。グループAスタリオンの開発は始まったばかりなのに、将来的にも非常に可能性が高く、海外ラリー向きだ」と両選手とも絶賛。

先行手配していたラリーアートのスポーツキットもそろい始め、スタリオンのスポーツキットは、海外のグループA仕様車としても組込まれることになるでしょう。



披露会に先立ち、外川会長のあいさつ



御殿場に集まった42名のCMSCメンバー

## スタリオン国内ラリー仕様車(概要)

ベース車：スタリオンGSR-V (SIRIUS DASHエンジン〈200PS〉搭載)

### 国内ラリー仕様

国内ラリー仕様	
サスペンション	
●フロントストラット	RALLIART試作品 (C=225/140kg)
●フロントスプリング	RALLIART試作品 (K=2.8kg/mm)
●フロントスタビライザ	ノーマル (RALLIARTスポーツキット開発中)
●ストラットインシュレータ	ビローボールタイプ (強化ゴムタイプをRALLIARTスポーツキットとして開発中)
●テンションロッドブッシュ	
●フロントローアームブッシュ	
●リヤストラット	RALLIART試作品 (C=190/140kg)
●リヤスプリング	RALLIART試作品 (K=2.4kg/mm)
●リヤスタビライザ	ノーマル (RALLIARTスポーツキット開発中)
●リヤローアームブッシュ	ノーマル (RALLIARTスポーツキット開発中)
インシュレータ	
●エンジンマウント	RALLIARTスポーツキット (強化品)
●T/Mマウント	RALLIARTスポーツキット (強化品)
●デフマウント	ノーマル (RALLIARTスポーツキット開発中)
●リヤメンバーマウント	ノーマル (RALLIARTスポーツキット開発中)
T/M & デフ	
●T/M	RALLIARTスポーツキット直轄5速T/M (1ST 2,853 2ND 2,113 3RD 1,582 4TH 1,233 5TH 1,000)
●クラッチ	RALLIART試作品 (押付荷重 730kg)
●デフ	RALLIARTスポーツキット (デフ比4.625)
ブレーキ	
●フロントブレーキパッド	RALLIART試作品 (フェロードDS11)
●リヤブレーキパッド	RALLIART試作品 (フェロードDS11)
その他	
●ロールバー	RALLIART試作品 (アルミ6点式)
●アンダーガード	RALLIART試作品 (アルミ合金製)
●タンクガード	RALLIART試作品 (アルミ合金製)

